

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ぐらひ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 12日 ～ 令和7年 3月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 12日 ～ 令和7年 2月 12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別の機能訓練の実施	作業療法士による、専門支援も導入しながら個別の課題と集団適応の課題と分けて支援を行っています。	ボルダリングなどの、大型器具の導入を検討し、感覚面にアプローチできるようにしていきたい。
2	集団適応訓練の実施	作業療法士による、専門支援も導入しながら個別の課題と集団適応の課題と分けて支援を行っています。	学校ごとに違うルールなどにも対応できるよう、随時確認を行っていく。
3	訪問支援との組み合わせ	事業所内のみで完結するのではなく、幼稚園・保育園とも連携しながら関係機関と協力をしながら、包括的な支援を実施しています。	現場職員同士での連携を強化し、計画書のみで進めるのではなくよりマクロな視点での支援を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	道具類の充実	事業所内で収納などに限りがある。	レンタルスペースの導入や、事業所の引っ越しなどまで考えていく。
2	男性職員の少なさ	女性職員の比率が多い為、男児に対しての恐怖感もある。	賃金規定などの策定や、求人の出し方などを工夫していく。
3	長期休暇の児童発達支援との共生	6歳以下の児童との交流で、いい面もあれば個別の支援が難しくなったりする場面もある。	活動を分けて、外出したりなど配慮を行っていく。